





たろー……♡すき♡
だいすき♡

う、うん……

はあ、はあ……♡
きもち、いいね……♡



「友人の娘の成績が
悪いらしくて。ちよつと
見てあげてくれない？」

母親にそう頼まれ
家庭教師のバイトを
する事になったのだが






よろしくお願ひします
はあ……



僕を待っていたのは
滅茶苦茶いやそうにする
金髪ギャルだった……




じゃあ、私の部屋
こっちだから

う、うん……



だ、大丈夫かなあ



どしたの? そんな
ぼーっと突っ立ってさ

あ、ごめんごめん
今行くよ

お？この子……
結構やる気じゃないか

じゃ、さっそくべんきよー
べんきよーっと





うっ……

先生さー、ぶっちゃけ疑ってるんじゃない？アタシのやる気とか

そりやね？アタシだって
勉強なんてヤダよ……
遊びたいし

だからもう、さっさと
結果を出して納得
してもらうしかないの


けど、ママは
怒ると凄く怖いんだよ
逆らえない……





な、なるほど……
そういう事か

だから先生
わかりやすく、そして
手っ取り早くよろしく



どうやらスメラギさん
僕の予想に反して
やる気はあったようだ

彼女の期待に
応えられるよう僕も
頑張ろう…！






いやー私こんな
良い点数取ったの
はじめてだよ



スメラギさんはまさに
その言葉通りの子だった

何も知らない方が
逆に教えやすい



先日の小テストで
いい成績を取れたと
彼女はご満悦だ

教えた事はすぐに
理解してくれるし
覚えるのも早かった



タローがわかりやすく
教えてくれたからだよ
褒めて遣わす!



うん！

しかも素直で可愛い
ホントにいい子だ
ある一点を除けば

よく頑張ったね。
この調子で本番の
テストも頑張って



お礼？いや別に
お金も貰ってるから
気にしなくても

あたし、何かタロー
にお礼をしたいな

んーじゃあ……




は、はい♡



あ、あはは、タロー
きよどりすぎだつて！
パンツ見せたくらいで！


ちょ、ちよつと……！




これだけは本当に
心臓に悪い……

スメラギさんは時々
こういう事をしてくる





早いもので
中間テストが数日後に
迫っていた。



まあ任せてよ
どーんと高得点
取ってくるからさ

僕の作った問題とかも
解けてたし、今の君なら
余裕だ！



でき、タロー
テスト終わったら…


でも、僕の家庭教師の
バイトもこれで終わりか

え……？

ん？どうしたの？

家庭教師のバイトが
終わってどういう
事……？





いやだって……
僕が家庭教師を
始めた理由って

スメラギさんの成績が
悪くなったからだし

その原因がなくなれば
僕はいる意味ないでしょ？




そ、そうだった……

はは、忘れてたの？
君らしいね

ぶっちやけ……
寂しいし、惜しい


勉強は大変だったけど
スメラギさんと一緒に
いて楽しかったし。





けどあくまで
家庭教師が終わる
だけの話だ。

先生と生徒の関係が
終わったら、遊びに
誘ってもいいかもしれない



スメラギさん
テスト頑張っ
てね

えー、あー、うん



……んー？
なんか上の空だけど
大丈夫かな





あたしの成績が
よくなったらタロー
辞めちゃうんだった

どーしよどーしよ
完全に忘れてた



でも家庭教師は
続けてもらえるよね…

そうだ、わざと
〇点とか取れば……

……そんな事したら
タローショックだろうな



でもそしたらもう
タローと会えない

いやでもでも……
タローの期待には
応えたい……!!



タロ……

あーあたしは
どうしたらいいんだ





